

OKIセミコンダクタ多摩は 非正規社員の解雇を撤回せよ



OKIセミコンダクタ多摩（八王子）は、08年12月4日に剰員が生じたという理由で、非正規社員（臨時社員）の解雇を強行しました。

この社員は、06年7月21日から「正期社員」登用の約束で、2年半ほど臨時社員として働いてきたものです。にもかかわらずOKIセミコンダクタ多摩は雇止め（解雇）を通告。この社員はJMIU（日本金属情報機器労組）に相談をしていましたが、24日には「自主退職」を強要され、拒否して26日には八王子地裁に不当な解雇の撤回と、09年1月からの賃金支払い（時給1200円の過去3ヶ月平均）を求める仮処分命令の申し立てを行いました。



潤沢な内部留保金・株主配当の影で
関連の従業員切りは許されません
親会社ロームの責任発揮を

OKIセミコンダクタ多摩の親会社は08年10月にロームに買収されたOKIセミコンダクタ（旧：沖電気半導体事業部門）です。ロームの従業員は約26,000人（OKIセミコンダクタ含む連結）で08年3月期の内部留保金が7983億円、株主への配当を273億円もしている資金豊富な大企業です。

沖セミコンダクタ多摩の高尾工場は、OKIセミコンダクタ構内にあります。09年1月5日、30人余が参加し工場前で就労を求める行動が行われました。マスコミの取材も東京、読売、朝日などの各新聞社で行われました。

非正規解雇は許さぬ

八王子

打ち切りの
男性ら

会社前でチラシ配布

半導体メーカー「O K Iセミコンダクタ多摩」(八王子市)で働いていた男性(三多)が、十二月末で契約を打ち切るのは不当だとして地位保全などを求めている問題で、男性や労働組合の関係者が五日朝、同社前で出勤途中の社員らに雇用の安定を求めるチラシを配った。

参加したのは、三多摩労連に加入する労働組合の組合員ら約三十人。午前七時半ごろから「非正規解雇を撤回しろ」などと記された紙を掲げ、社員らに「会社は内部留保を少し切り崩すだけで雇い止めを減らすことはできる」と、「非正規切

り」が企業側の責任であることを訴えた。また、「不当な雇い止めに遭いそうなときなどは連絡してほしい」などと呼び掛けながらチラシを配布。今回雇い止めされた男性だけの問題でないことを強調した。相談は、フリーダイヤルの「労働相談ホットライン」(電話0120(3)78)060へ。(布施谷航)



雇い止めの撤回を呼び掛ける労働組合員ら＝八王子市で

「雇い止め」撤回 親会社前で訴え

八王子、元臨時社員ら

契約満了を理由に八王子市の電機部品製造会社「O K Iセミコンダクタ多摩」を先月末で解雇された元臨時社員の男性(35)が5日、三多摩労連の組合員らとともに市内にある親会社のO K Iセミコンダクタ前で、「雇い止め」の撤回を訴えた。男性は昨年末、地裁八王子支部に従業員としての地位保全を求める仮処分申請をしている。

この日朝、同市東浅川町の同社正門前に男性ら組合員ら



「解雇撤回」を求め、チラシを配る三多摩労連のメンバーら＝八王子市東浅川町

約30人が並んだ。横断幕を掲げ、仕事始めて出勤してきた社員らにチラシを配った。同労連の坂ノ下征稔事務局長は

「これまでのもうけを取り崩し、雇用を守るのが大企業の責任ではないか」とハンドマイクで抗議した。

男性は日野市内のアパートを借りて住んでいる。取材に「預金もなく、このままだとアパートを出なくてはいけない。(年末年始は)不安で眠れなかった」と話した。

潮	7日・中潮
	東京港
満潮	2.08
	12.11
干潮	6.46
	20.05